

学力向上推進だより

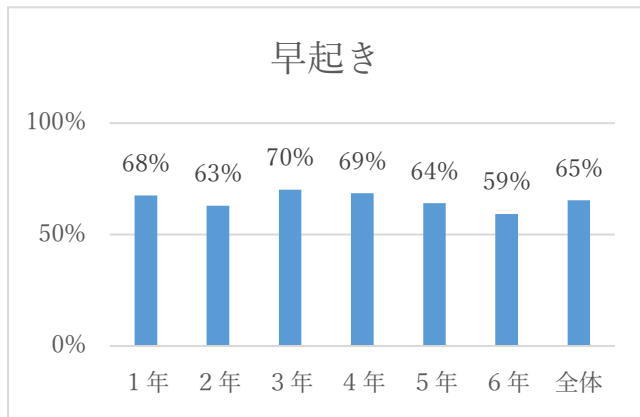
豊崎小学校

学力向上推進担当 新垣 安隆

5月25日から5月29日までの5日間、各家庭において豊崎っ子生活点検表「早起き・朝ごはん・てくてく登校・家庭学習・早寝」の5項目に取り組んでもらいました。保護者のサインやお子様への声かけ等のご協力ありがとうございました。学力向上には、「生活リズムの確立」が大きく関わっているとされます。今回は、取組から見えてきた課題についてお知らせします。

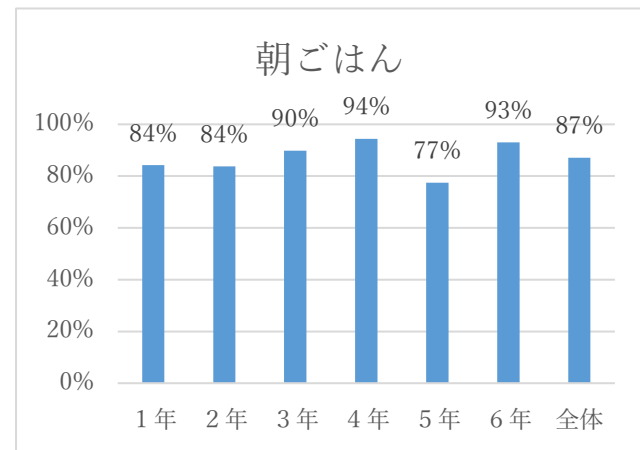
今回、結果を考察するにあたり、◎を4点○を2点△を0点と数値化し、各項目5日間の合計点数（20点）の8割（16点）以上の得点の児童を概ねその項目が身についていると考え、児童の割合をグラフに数値化しています。

1	早起き (～6時30分までに起きる)	◎できた ○6時30分～7時に起きた △7時を過ぎた
2	朝ごはん	◎全部食べた ○少し残した △食べていない
3	てくてく登校	◎自宅から歩いて登校 ○途中から歩いて登校 △車で登校
4	家庭学習 学年×15分以上 ※読書や塾なども含む	◎学年×15分以上できた ○もう少し △やらなかった
5	早ね (9時頃にはねる)	◎できた ○9時30分頃にねた △10時30分すぎにねた



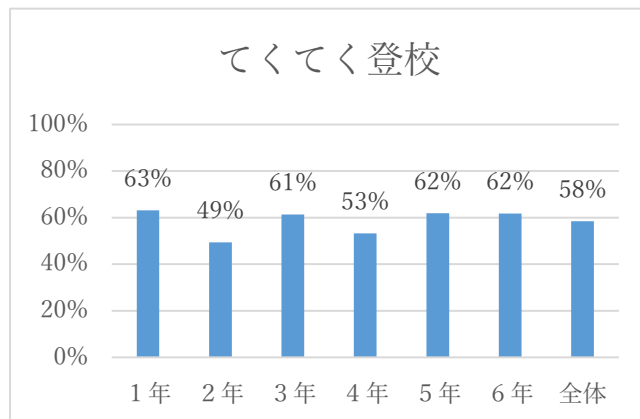
〈早起き〉

どの学年も6時30分までに約6割以上の児童が起きる習慣が身についているようです。7時以降に起床している児童も見受けられますので、自分自身で6時30分までに起床ができる習慣を身に付けさせましょう。



〈朝ごはん〉

朝ごはんを全く食べない児童はほとんど見られませんが、時間内に完食できない児童も1割程度いるようです。朝食は、バランスよく完食ができるようにしましょう。起きたばかりで、頭がボーッと食べるのに時間がかかっている子もいるかと思しますので、少し早めに起きてもらい朝食にかかる時間を長めに確保してもいいかもしれません。

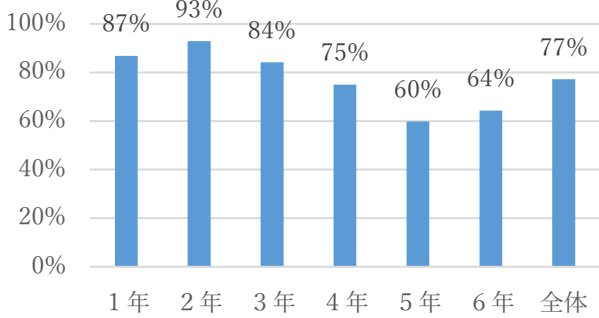


〈てくてく登校〉

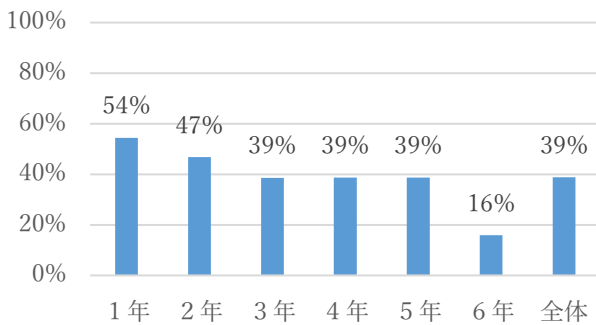
58%の児童は普段からてくてく登校に取り組んでいるようです。てくてく登校をすることで、体や脳が目覚めます。また、登校の際は地域や保護者の方々による交通安全の見守りも行っています。自宅から遠く、車で登校している児童は、学校近くの安全に下車できる場所で下ろし、できる範囲から、てくてく登校に取り組みせてみてはいかがでしょうか。

※裏面につづく

家庭学習



早寝



〈家庭学習〉

家庭学習の時間を今年度は15分×学年で設定しています。例えば6年生だと15分×6学年＝90分です。家庭学習の時間には、読書や学習塾での学習時間を含めていても構いません。

高学年に上がるにつれ、めやすとなる学習時間を達成できない児童が多くなる傾向があるようです。また、学校で補習の時間を確保することが難しいので与えられた宿題は確実に取り組むようにしましょう。

〈早ね〉

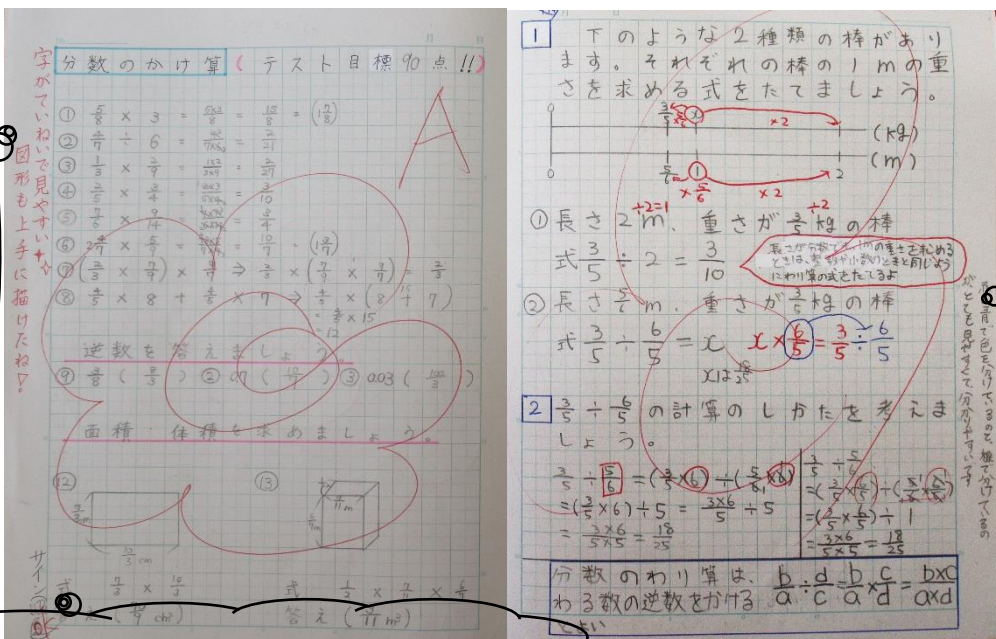
「9時頃には寝る」が定着している児童は約4割です。10時半以降に寝ている児童も学年が上がるにつれ増えています。睡眠時間のめやすは、7時間～10時間程度がよいといわれています。朝、すっきり起きられるように早寝の習慣をつけましょう。



長い休校明けということもあり、生活リズムを取り戻すのに苦労している児童も見受けられますのでご家庭でのサポートをお願いします。11月頃にも2回目の生活リズムカレンダーの取組を行いますので、今一度、子ども達と今回の取組の振り返りをお願いします。

「がんばりノートリレー」の取り組みスタート

担任による励ましのコメント



お友だちからのコメント

保護者のサインありがとうございます

現在、2年生以上で実施しています

